

令和 3年 10月 5日

ワークショップについて

氏名 岡 昌子

1 日 時 令和 3年 9月 28日 (火) 14:00 ~ 16:45

2 会 場 黒崎文化会館

3 参加者属性 (該当する所属を○で囲む)

公民館運営審議会委員 ・ 図書館協議会委員 ・ ユースアドバイザー ・ 社会福祉協議会職員

4 意見交換を行った活動事例

参加者それぞれの立場で記入した付箋の内容を順番に発表してもらい、それらについての意見交換をしました。

- ・公民館での講座に人が集まらない
- ・学校での福祉教育に時間が足りない 先生方に福祉感を持ってもらう
- ・図書館利用が減少している 読書の世界を広げることの大切さを伝えたい
- ・相手の立場に立った心の在り方 社会軸を持ってもらう

5 社会教育委員として、ワークショップを運営して感じたこと

事例研究を聞き、社会教育施設、地域団体と学校教育とのかかわりの中で育まれる活動が次世代育成につながるということが理解できた上で、参加者の立場で、どのようにかかわれば良いかを考える機会になった。

6 次世代育成につなげるための課題

参加者の一人が、社会軸という言葉を使っていたが、多くの人とのかかわりがますます希薄になりつつある現在、地域でも学校教育の場でも「次世代育成」はこれまで以上に困難になっている。

7 課題の解決策、ヒント

地域、学校教育の中で「次世代育成」の意義、必要性を共通認識できることが望ましい。その一つのきっかけとして、次年度から小、中学校で実施されるコミュニティスクールの説明会を地域に向けて開催し、お互いの課題を共有し、解決するための方法、取り組み等、地域全体で考える場をつくることも次世代育成につながるのではないかと。